

愛媛県における県立学校の再開について

令和2年4月7日
愛媛県知事 中村時広

新型コロナウイルスの感染拡大に対処するため、政府の要請を受けて、3月上旬に県立学校の休校措置を開始してから1か月余りが経過しました。

この間、児童生徒の皆さんが生活リズムや学習習慣を維持し充実した日々を送ることができたのは、本人や保護者の皆様及び学校関係者の御努力はもとより、地域の皆様の温かい御支援の賜物であり、心よりお礼申し上げます。

さて、新年度を迎えるに当たり、県立学校では、今後の人生の道筋を決める進学や就職を控えた高校生をはじめ、児童生徒の皆さんに対し、安全を確保した上で、可能な限り十分な教育を行いたいと考え、万全の感染防止対策の下、一部の学校を除き、例年どおりのスケジュールで学校を再開することいたしました。

学校再開については、県教育委員会が決定いたしますが、保健衛生行政を所管する知事部局とともに様々な観点から慎重な検討を重ね、判断をしております。

以下、県民の健康を預かる知事の立場から、再開の判断に至るまでの考え方を御説明させていただきます。

まず、県内の感染状況について、本県では、これまでに10事例23名の感染が確認されておりますが（4月7日正午現在）、いずれも首都圏等県外や海外からの感染が強く疑われるもので、感染源の特定ができない発症者が多発している状況ではありません。これは、調査・追跡をすればウイルスを封じ込められる可能性があるということであり、本県ではすべての濃厚接触者に2週間の自宅待機と健康観察に御協力いただくとともに、無症状であっても検体採取を行い感染の有無を早期に確認するなど、国の方針よりもさらに踏み込んだ措置を講じることにより、事例ごとに着実に感染の封じ込めを行っております（別添の資料をご覧ください）。

一方で、4月は様々な地域と人の行き来が盛んになる時期です。

これらのリスクに対しても、本県では、県民の皆様に、感染拡大地域への旅行等の自粛や、やむを得ず旅行をした場合は、不特定多数が訪れる場所等を避け、帰県後2週間は感染予防に留意するなどの水際対策の徹底をあらゆる機会を捉えてお願いしており、その結果、本県は、感染が拡大している

状況にはないということをご理解いただきたいと思います。

また、学校現場においても、3つの感染リスク（密閉・密集・密接）の管理や毎日の健康管理等の徹底、教室での座席配置や授業時間・授業内容の工夫など感染予防を図るための様々な対策を検討してきました。

こうした本県の感染の現状と感染予防策に加え、新学期を待ちわびる児童生徒や保護者をはじめ学校再開に向けて努力を重ねてきた関係者の思いや、休業を再度延長した場合の児童生徒等や教育活動への影響、さらには、高等学校の生徒は感染リスクに対する判断能力・自己管理能力を有する学齢であることや、特に新3年生にとっては、今後の人生に大きな影響を与える進路選択を目前にして、大学入試制度改革の方向性が大きく揺れる中で、進路や学習の指導を丁寧に行う大切な時期であること、さらに特別支援学校では、教員数が手厚く配置されており、感染リスク管理を適切に行えることなど、様々な観点から検討を行った結果として、学校の再開を判断いたしました。

ただし、県内全域を一律に再開するのではなく、学校の所在する市町の状況等を踏まえ、一部の県立学校では、再開を延期したところです。

また、医療的ケアを必要とする児童生徒や基礎疾患のある児童生徒、新型コロナウイルス感染症に対する不安が強いなど登校することが困難な児童生徒については、その不利益にならないよう、「欠席日数」には該当しない取扱いを行うとともに、登校再開までの間の学習相談等については、その期間に必要な学習課題の提供や、家庭訪問や電話等による指導などにより丁寧に対応しますので、学校に御相談ください。

本日4月7日には、東京都など7都府県を対象に、新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令される見込みです。

児童生徒や保護者の皆様には、学校再開について期待や不安など様々な御意見があると認識しておりますが、私と県教育委員会が慎重な検討を重ねた結果としての再開であり、学校現場では、教職員が総力をあげて、児童生徒等の感染予防と、将来の礎となる大切な学びのために全力で準備を行っております。また、今後も感染状況を注視し、変化が認められれば、速やかに対応の見直しを検討することとしておりますので、今回の措置について、御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

最後に、感染拡大防止には、お一人おひとりの御協力が不可欠です。今後とも気を緩めることなく、うがい・手洗い・換気をはじめ、密閉・密集・密接の3つの密を極力避ける行動など、十分な注意をしていただくよう強くお願いいたします。

愛媛県内の状況

【 R2.4.7 15時現在 】

対処事例	検査数	陰性	陽性	関係者調査	検査完了	健康観察終了
クルーズ船下船者	7	7	0	●	●	●
1～3事例目	72	69	3	●	●	●
4事例目 (新居浜市20代)	6	5	1	●	●	○
5事例目 (松山市集団感染)	67	59	8	●	●	○
6事例目 (松山市70代)	7	6	1	●	●	○
7事例目 (松前町・砥部町関係)	19	14	5	●	●	○
8事例目 (新居浜市50代)	2	0	2	●	●	○
9事例目 (内子高校関係)	1	0	1	●	○	○
10事例目 (愛南町関係)	3	1	2	○	○	○
医師等からの 要請によるもの	266	266	0	—	—	—
合計	450	427	23	うち治療中18名		

【凡例】 ● : 接触者特定済、検査完了、健康観察終了
○ : 接触者特定中、検査中、健康観察中